

33

富士通(株) ▶ 別府市医師会【大分県】

地域医療連携システム『HumanBridge』

＜地域包括ケアを支える情報共有の仕組み＞

医療従事者と介護従事者という職種を超えた情報の連携を実現。

在宅において、患者さんのケアに関する情報を簡単に入力して確認ができる環境を提供。

患者さんの最適なケアを行う寛容の構築に貢献した。

背景

地域包括ケアでは、医療従事者（医師・看護師）と介護従事者（ケアマネージャ・介護サービス事業者など）の連携によって、患者さんへの最適なケアを行うことが求められる。その際、訪問する日にちや時間帯が異なる医療従事者・介護従事者間で患者さんの情報を、患者さんの家族を含め、いかに効率的・効果的に共有を図るかが重要となる。別府市医師会では、この課題を解決するため、地域医療連携の仕組みを基に、タブレット端末による情報共有の仕組みを構築した。

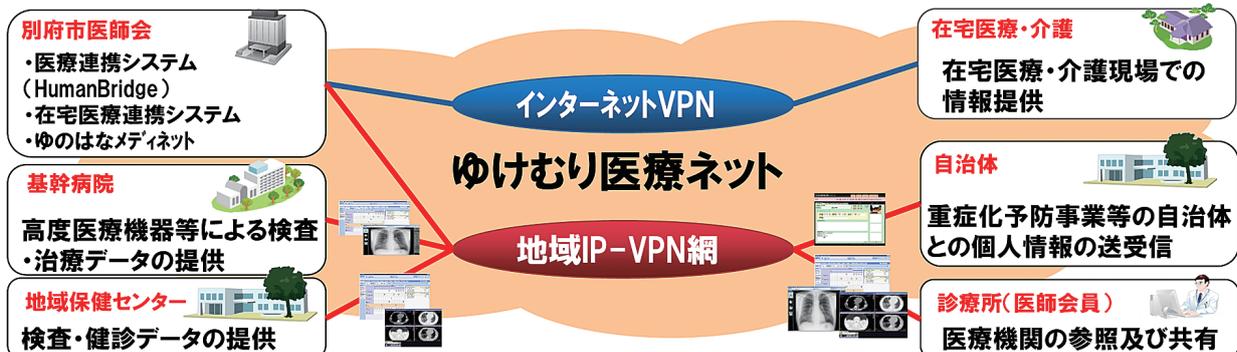
概要

- 別府地域では、別府市医師会が主導して会員の病院・診療所と複数の基幹病院と健診センターを結ぶ地域医療・地域保健のネットワーク「ゆけむり医療ネットワーク」が整備されており、患者の利便性や医療の質を上げつつ、重複検査などの無駄を省く取り組みなどを行っている。
- 高齢社会が進展するなか、住民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・生活支援等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められており、別府地域においても、訪問診療を通じて、医療と介護の連携による患者さんへのケアにあたる取り組みが始められている。
- 医療と介護の情報連携を促進するにあたって、富士通の『HumanBridge在宅ケアオプション』を活用。他職種に渡る情報連携を可能にし、患者さんへの最適なケア環境の構築を実現した。

大分県別府市、別府市医師会が中心となる「ゆけむり医療ネットワーク」

- 運営主体 一般社団法人 別府市医師会
- 運用開始 2011年3月
- 参加施設数* 情報提供:5 (4基幹病院と地域保健センター)
参照施設:57 (*2015年10月現在)

※大分県別府市 人口約12万人
個別の医療機関119施設
基幹病院5施設
別府市薬剤師会に所属する薬局65施設



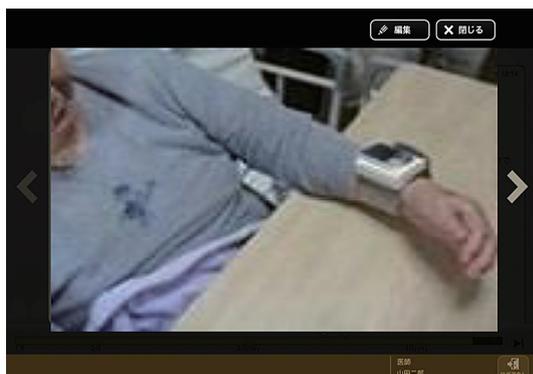
←38ページから続く

アピールポイント

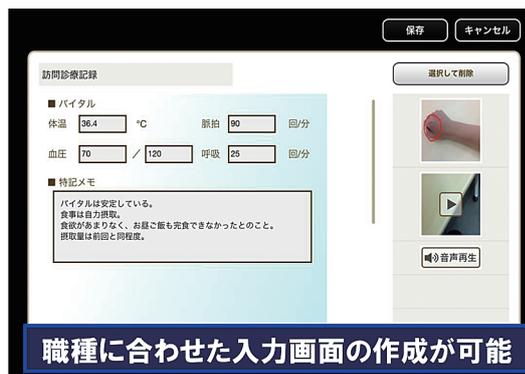
- スムーズに情報共有が図れるタブレット端末の活用。ITに詳しくない方にもわかりやすい操作性を実現。
- 関係者で閉じた形でのソーシャルネットワーク型のコミュニケーションツールを通じた関係者間での情報連携の加速。
- 写真や音声といったマルチメディア情報の共有による現場の雰囲気をも的確に共有。
- 地域医療連携システム『HumanBridge』を通じた中核病院等の医師との情報連携。
- 病院の医師が的確にアドバイスできる機能により、患者さんがより安心して在宅でケアできる環境を構築。

在宅向け専用ツール（現場情報のスムーズな共有）

写真・動画・音声による現場情報の取得



テンプレートによる情報入力支援



職種に合わせた入力画面の作成が可能

在宅ケアツールを活用した在宅情報の共有



富士通株式会社 ヘルスケアシステム事業部 <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/>
 ☎ 0120-933-200 富士通コンタクトライン（総合窓口）
 受付時間 9:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）